

会 議 録

平成24年12月19日調製

審議会等名	平成24年度 第2回 社会教育委員会議及び公民館運営審議会		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	平成24年11月28日(水) 午後1時55分～4時05分		
開催場所	三条市中央公民館 大集会室	傍聴者	なし
		報道機関	三條新聞社
出席者氏名	委員 小林斉子委員(議長) 阿部凉子委員(副議長) 小野島臣儀委員 (10人) 桑原 理委員 五十嵐公江委員 田中 茂 委員 米山文子委員 渡邊秀雄委員 阿久津文雄委員 杉野真司委員 (欠席者) 安藤正之委員 今井久美子委員 五十嵐成子委員 弥田正蔵委員		
	職員 宗村市民部長 金子生涯学習課長兼中央公民館長兼三条東公民館長 (14人) 太向図書館長兼歴史民俗産業資料館長 羽賀諸橋轍次記念館長 坂井嵐南公民館長 藤崎井栗公民館長 鈴木本成寺公民館長 石田大島公民館長 大坂大崎公民館長 高波栄公民館長 野村下田公民館長 石崎生涯学習課課長補佐 長橋生涯学習課課長補佐兼中央公民館館長補佐 小林生涯学習推進係長		
議 題	(1) 平成24年度生涯学習・社会教育事業の中間報告について		
	(2) 平成25年度生涯学習・社会教育事業の方向性について		
そ の 他	・施設使用料に係る減免基準の見直しについて		
会 議 内 容	別紙のとおり		

小林議長	<p>定刻前ですが、皆様お揃いですので始めさせていただきます。</p> <p>平成24年度 第2回社会教育委員会議及び公民館運営審議会を開催いたします。本日の出席者は10名、定足数を満たしていますので会議が成立することを報告いたします。それでは、宗村市民部長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
宗村市民部長	<p><市民部長挨拶></p>
小林議長	<p>これより会議に入ります。レジュメでは中間報告の方が先ですが、本日は順序を入れ替え、「(2)平成25年度生涯学習・社会教育事業の方向性について」を最初に持ってきます。これは大変大きなテーマであるため、時間をかけてゆっくりと皆様のご意見を拝聴したいという意味合いがございます。その点を鑑み、活発なご意見をよろしくをお願いいたします。それでは、事務局より簡単に説明をお願いいたします。</p>
金子生涯学習課長	<p>本日ご協議いただくために、事前に皆様から提出いただいた意見・提案をとりまとめ、資料No.4「三条市の生涯学習」(社会教育計画)作成にかかる意見・提案シート集計表」を本日お手元に配付させていただきました。</p> <p>「平成24年度三条市の生涯学習」をベースに、平成25年度の重点目標について本日ご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
小林議長	<p>今ほどの説明のとおり、資料No.4に基づいて会議を進めてまいります。</p> <p>「1『重点目標』に対する意見・提案」が9件出ております。本日、欠席が4名ですが、このことに触れていない方が5名おられるようですので、ご確認をお願いするとともに、ここに書いてあるものの中で、ご自分で説明もしくは補足の部分があったらお伺いしたいと思います。①は私ですので、後ほどとさせていただきます、②の方からお願いいたします。</p>
阿部副議長	<p>②は私です。基本方針・重点目標は、どれをとっても重要であり、このとおり推進されれば大変素晴らしいと思うが、あまり推進されていないものもあるのではないかということも含まれています。</p>
桑原委員	<p>③は私です。スマートウェルネスを盛んに取り上げているので、来年度も続けていただくことで、健康なまちづくりや市民の活性化に繋がるのではないかと思います。防災教育については、生涯学習課だけでなく各課と連携を取ってほしい。</p>
金子生涯学習課長	<p>本日、欠席の委員さんを報告しておりませんでしたので、紹介させていただきます。安藤委員、今井委員、五十嵐(成)委員、弥田委員が欠席ですのでよろしくお願いいたします。④⑤の意見は欠席の方です。</p>

田中委員	⑥です。毎年素晴らしい目標を掲げてやっておられるので、今後もこのような状態でやっていただきたい。
米山委員	⑦です。平成23年度と平成24年度を比べると、平成23年度は重点目標が11件あり、平成24年度は10件で少なくなっているが、あまりにも広がり過ぎているのではないか。平成24年度の重点目標(1)(2)あたりが、三条市として一番言いたいことではないかという感じを受ける。重点目標はもっと少なくして、そこから派生するものとしてまとめた方が、読んでわかりやすいのではないかと思う。
阿久津委員	⑧です。平成24年度の重点目標(3)と関連していますが、地域力を高めるためと、地域づくりをどうしたらいいのかということ、重点目標の中にも入れてほしい。
杉野委員	⑨です。平成24年度の内容では、概ね満遍なく網羅されているのではないかとこのことで書かせていただきました。
小林議長	<p>①です。「生涯学習推進計画に基づく事業を展開し、全市的視点から生涯学習の推進を図る。」が、平成24年度重点目標の(1)に挙がっている。(2)～(10)までは、重点目標ではないように感じます。上位計画の「生涯学習推進計画」で、基本構想3つの柱に基づき施策を展開すると書かれてあるので、重点目標は、(1)で全体がカバーされていると新たに感じました。米山さんがおっしゃったように、重点目標とは、もう少しきちっとコンパクトにしたものであり、小項目のような施策的なものが(2)～(10)となるのではないかと思います。今回、新たに再認識させていただき、このように書きました。</p> <p>只今、委員の皆様から説明を含めていろんなご意見がありましたが、これに基づいて生涯学習課長から考えを伺いたいと思います。</p>
金子生涯学習課長	<p>委員の皆様からご意見をいただいたわけですが、重点目標(1)が、生涯学習計画の全てを網羅している大きな重点目標となっていて、(2)～(10)はその下に入っているという指摘については、その通りだと思いますので、施策自体を変えることなく、書き方の工夫をさせていただきたいと思います。</p> <p>③のご指摘の中の「横の連携をとりながら企画・実施」ということについては、私どもも基本姿勢としてやっておりますので、そのまま受け止めさせていただきます。④の「公民館活動の充実」の明記については、公民館が社会教育の中核的活動を担っているわけですので、表記について検討したいと思います。⑦の米山委員さんのご意見は、その通りだと思っております。⑧の地域課題についても挙げていただいたとおりであり、きちんとした項目立てをさせていただきたいと思います。</p>

阿部副議長	<p>2 重点目標の(1)は総体的なものであり、他とは少し違うと思っていましたが、生涯学習の基本方針に近いものだと思います。しかし、生涯学習の重点目標は、項目が多岐に渡るのは当たり前であり、(2)～(10)は社会教育の中で重要なことなので、一段下げて扱われるようなことになってほしくない。例えば、公民館、子育てとか一つに絞るのであれば、次に年度の事業計画に出て来るものとなる。この重点目標は変わらなくてよいと思います。</p>
金子生涯学習課長	<p>下部に収れんするのでなく、(1)は階層として生涯学習推進計画での網羅的なものであるため、区分けし、整理をさせてもらいたいと思っています。</p>
阿部副議長	<p>(1)を基本方針に挙げてもらえば、(2)からは重点目標になると思います。</p>
小野島委員	<p>重点目標としては、三条市の基本方針で落とせないものばかりなので、変えることは難しいのではないかと思います。</p>
田中委員	<p>重点目標(1)は生涯学習の基本計画に基づくものなので、基本方針の中を含め、(2)～(10)までを重点目標に組み込んだら良いと考えます。</p>
小林議長	<p>本日の意見・提案を反映され、平成25年度の新しい重点目標になることをよろしくお願いいたします。</p> <p>次に「2『事業への取組』に関する意見・提案」です。先ほどと同じようなやり方で進めさせていただきます。いかがでしょうか。</p>
米山委員	<p>⑧で、プランニングテーブルはどの程度の間隔でやっておられますか。</p>
金子生涯学習課長	<p>年度計画を立てる時に、関係課と事業が輻輳しないよう打合せをしています。連携を求められる事業については、その都度、関係課と企画会議をもっています。</p>
田中委員	<p>⑦の教育長との話し合いの場をもっていただきたいというのは、社会教育委員、公民館運営審議委員として、三条市がどのようにもっていかしているのか分からないからです。例えば小中一貫校の問題とか。会う機会もあるのだとは思いますが、話し合いの場をもっていただきたいと考えています。</p>
小林議長	<p>昨年こちらから申し入れをして計画を進めていたが、6月、急に教育長がお替りになったため、具体的な話までは煮詰まっていない。でも、計画中有るのでこの機会は設けられると思っています。</p>
阿部副議長	<p>②ですが、三条市の社会教育委員はどのような位置にいて何をするのか、何年やってもはっきりしない。新潟の方から送られてきた社会教育委員の手引</p>

	<p>きを読んで、三条市は違うのではないかという気がしてきた。事業計画は、生涯学習推進会議でも立てていて、それをそのまま社会教育委員に報告し、了解している気がする。持って来られたものに目を通すのが社会教育委員会会議なのか。社会教育委員と公民館運営審議会委員が一緒になったから、公民館のことを社会教育委員がやれば、それでよいと思う人も出て来ているのかと思ってしまう。生涯学習推進会議の管理の下に社会教育委員があるのだろうか。社会教育委員としては、事業の取組についてどのようにしたら理解を深めていけるのか。審議で済むのか、提案で済むのか。確認したいと思っています。</p>
小林議長	<p>生涯学習推進会議の管理の下ではありませんので、その位置付けの説明をお願いいたします。</p>
金子生涯学習課長	<p>他の自治体も含め、社会教育委員会会議は、委員さんを民間の方も含めた会議または民間の方だけの会議の形態があり、生涯学習推進会議では事務局側だけの会議の形態もあります。三条市では民間の方だけの生涯学習推進会議となっていますが、計画・立案はしておりません。生涯学習推進計画というものを立て、8年間における事業の取組を挙げ、毎年、社会教育、家庭教育など事業の内容についての進捗状況を報告しており、推進計画がどの程度実施されているのかいうことをやっている。社会教育委員会会議が生涯学習推進会議の管理の下にあるということはないので、誤解を解いていただきたい。生涯学習推進会議は、学校教育事業なども含めて報告しています。社会教育としての取組みは、従前から自主的に行われているということで御理解いただきたいと思います。</p>
阿部副議長	<p>生涯学習推進計画を、生涯学習推進会議で進捗管理をしているのですか。そして計画・立案ができるのですか。</p>
金子生涯学習課長	<p>計画の中での実施報告を行っています。</p>
小林議長	<p>企画・立案をするわけではなく、生涯学習事業で実施したものを報告する場所です。生涯学習推進計画に基づいたものの事業の進捗管理をそこでやっているという理解でよろしいかと思います。そこで阿部委員としては、(1)～(6)の事業への取組の中で、社会教育委員としての理解が深められないというところにぶつかったということでしょうか。今の説明でよろしいですか。</p>
阿部副議長	<p>今の説明では、生涯学習推進会議が立案はしないけれども、計画の報告を受け進捗管理をしている。では、社会教育委員は何をどうしているのか。どうすればよいのか。つまり、深められていないということではないのですか。</p>
金子生涯学習課長	<p>社会教育委員については、社会教育事業の計画・立案というのが当然あり、それが法律の中にある訳ですが、事務局が変わって、計画・立案したものを採</p>

	<p>扱していただくという形をとっています。</p>
小林議長	<p>そのような形での参画をしているということであり、今日ここで議論している「提案の部分」が、それに当てはまるのではないかと思います。いかがでしょうか。</p>
金子生涯学習課長	<p>そのとおりです。</p>
阿部副議長	<p>わかりました。</p>
小林議長	<p>③の図書館のことをお書きになった方、お願いいたします。</p>
小野島委員	<p>図書館を利用拡大するために、今の社会ではネットワークが欠かせないと思う。ボランティアを養成することはあるが、それを仕組みの中でどう生かしていくかの踏み込んで視点を持たないと、今ある資源の有効活用にも繋がらないし、活動の深まり、利用の深まりにも繋がらないのではないかと感じている。そこで、自分の立場から考えると、図書館の蔵書なり小学校の蔵書なりが連携できれば、もっと有効活用ができるのではないかと思います。</p>
金子生涯学習課長	<p>市立図書館と小中図書館のネットワーク化は、子ども読書推進計画の中でも触れられていて、これはハードの小中学校の蔵書に、パソコンで取り込めるような作業が必要となります。現在、小中学校の図書館協議会と協議しておりますが、多くの予算がかかることもあり、現在では検討中という段階です。</p>
小野島委員	<p>図書館に限らず、さまざまな情報が繋がるよう、そのような方向性を持って一歩でも進めていく必要があると考えます。</p>
小林議長	<p>ご検討をお願いします。</p>
桑原委員	<p>④です。最近、市は指定管理者制度を導入している。何がなんでも指定管理者を募集し、図書館だけでなく大事な公民館でも同じことをしているのだろうかという疑問がある。ましてや中央公民館が指定管理者制度になったらどうなるのかと思っています。</p>
小林議長	<p>中央公民館は指定管理者制度には入りません。</p>
桑原委員	<p>それが分からなかったもので、全部入るのかと思いました。</p>
小林議長	<p>結局、三条市の経営戦略プログラムのチャートによって決まったものであるもので、抵抗のしようがないものです。</p>

桑原委員	小さいところが指定管理となるのですか。
小林議長	手を挙げる方がいらっしゃればということです。
田中委員	この件に関連して、私は大島ですが、公民館の職員は嘱託というか、アルバイトのような感じで取り扱われている。昔のように市から1人職員がいて、その他にいうという形態であれば良いと思うが、今の状態は良くないと思います。
小林議長	指定管理については、この会でどのような意見が出ようと、経営戦略プログラムできちんと位置付けられ、地区公民館の取扱いの一項が示されています。ただ、こういう意見が様々なところであることを、いろんな機会にお伝えしなければならぬと思う。皆さんはいろんな所で活動されている方々ですので、そのような声を市役所に届けることは必要です。それによって、流れが変わるかどうかは定かではありませんが。私も指定管理についてはいろんな所で耳に入り、戸惑いがあるところです。
宗村市民部長	公民館の指定管理については、市の経営戦略プログラムの取組の中で定まったものです。ただし、社会教育委員会議及び公民館運営審議会委員会議において、事業に支障がある、停滞するというようなご意見があれば、改善の要望等お寄せいただいた方がよろしいかと思えます。それによって指定管理になった公民館がより良い形になっていくことと思えます。また、地区公民館の職員が嘱託であるということについては、誤解があるように思えます。市の組織・職員体制について伝えきれていない部分があるようですが、地区公民館の職員は決して嘱託ではございません。
金子生涯学習課長	地区公民館の職員が嘱託で、市の職員ではないということのご意見については、職員は嘱託ではなく、期限付任用職員という市の正規の職員であり、複数名おりますのでよろしくご理解いただきたいと思います。
田中委員	私には、正職員ではないというニュアンスがあるのです。
宗村市民部長	誤解があるのは、正規職員が60歳で定年ということに対して、期限付任用職員は任期が3年の職員、2年あるいは1年の職員もいるのですが、以前のような嘱託職員ではなく、れっきとした地方公務員です。身分も保障されており、正規職員と同等の権利義務があります。任期が違うだけです。また、3年だけとはなっていない、特段、職員の資質に不適切なことがない限りは、継続して採用となっていますので、誤解のないようお願いしたいと思います。

小林議長	⑥と⑨の内容は、公民館事業についてですが、お書きになった方お願いいたします。
阿久津委員	⑨で、重点目標(4)に関係して、青少年・若者に取り組む事業はなかなか難しいと思うができるだけやってほしい。また、幼少と高齢者の交流もいかがでしょうかという意見です。
小林議長	<p>次に取られることがあったらよろしくお願ひしたいということです。それでは、①は私です。これは全部まちづくりに関することに入るかと思ひます。三条市の重要施策で、例えば今、スマートウエルネスシティで、生涯学習としても取り組んでおられるが、それで止まっていますは次のステップに踏めないと思ひます。今度、新しく政策室ができるそうなので、連携して次のステップへ進んでいただくことを要望したいと思ひます。</p> <p>次に、グランドデザインということについては、もしかして先ほどの指定管理でもあったように、経営戦略プログラム一辺倒になっているのではないかという思ひがしてならない。三条市の総合計画から始まって、いろいろな上位計画が網羅されているわけですが、それにあまりにも影響され、生涯学習もしくは社会教育の視点から、なかなかその部分で抜け出せないのではないのかということに尽きると思ひます。逆にいえば、自分たちのグランドデザインを作りたい。三条市の施策に発言できるような取り組み方、可能性を秘めているものが多々あると思ひます。壮大な思ひを込めて書きました。何ができるのかも含め1年かけてご検討いただければ幸いです。</p>
金子生涯学習課長	社会教育の中のリーダー養成はやっておりますが、枠を超えた全市的なリーダーの養成については、取り組み方が分からない部分もありますので、検討させていただきます。
阿部副議長	プランニングテーブルには教育委員会も入っていると思ひますが、図書館と小中学校図書館のネットワークの必要性で例があったように、図書館だけでなく、重点目標や事業計画の中において「学社連携」という言葉が一つも見当たらないことから、教育委員会との連携が全然見えない。教育委員との懇談会は、3月までには絶対にやらなければいけません。教育長が替わられてから何カ月も経っています。生涯学習推進会議で学校教育のことも報告されているということでしたが、私達も、学校教育と連携を取ってゆかないと社会教育、人材育成も進んでいかないのではないかと思ひます。重点的にお願いしたいと思ひます。
金子生涯学習課長	いろいろな連携がありますが、学社連携については、確かに重要な連携ということと思ひますので、明記させていただきたいと思ひます。

小林議長	次に移らせていただきます。「3 『生涯学習事業』、『芸術文化事業』、『文化財事業』ほか具体的事業に関する意見・提案」についてです。特にこの部分に触れた方、いかがでしょうか。
杉野委員	⑫です。文化財に関して、興味がある方だけで、広く市民に関心が向けられていないように思われるので、改善できるのであればしていただきたい。昨年度まで行った歴史建造物調査などのように、ある種の傾向や方向性などが知ら示されていると分かり易いが、なんとなく市民には分からない中で、発掘調査や建物調査をされているようなので、もう少しプロセスもオープンにしていたけるとよいと思います。
金子生涯学習課長	文化財調査については、ここ5年間のスパンとして建築物調査、中心市街地の歴史的建造物調査をやっています。年度によって対象物が変わってきているということですが、文化財保護審議会で文化遺産リストを作ってもらっており、150件あるうち、重要度、緊急度の高いものから調査しています。文化財保護審議会で決定されているものからであり、傾向としてわかりにくいのかも。所有者の受託や優先度の関係もあるということをご理解いただきたい。ある程度の5年計画など、調査計画を作成することについて検討したいと思います。また、文化財について市民への広がりがないという点については、更に分かり易い解説の仕方、PRの仕方を工夫させていただきます。
小野島委員	⑬です。⑩と関連していますが、今日も資料の中にあるように、文化財事業がたくさんあり、学校へも調査報告書など山のよういろいろなものが来ます。小学校に来るものは子ども向けで内容も工夫されているけれど、実際は本来の全体像がよく分からない実態があります。資料がどこにあるのか、誰に聞けばいいのか等、網羅的なものが不足しているのではないかと思います。例えば、私どもの学校教育現場で子どもが調べたいこと、この間も小林ハルさんの例がありましたが、特定の人物に対してはいろんなところで相談にのってくれますが、漠然とでも「こういうものがある」という最初の段階の部分がかなか見えない。そのあたりを工夫していただけるとよいと思います。
金子生涯学習課長	三条の歴史あるいは文化財的なものについての小中学校の学習利用については、窓口としては生涯学習課、歴史民俗産業資料館、図書館に問合せいただければ、職員がある程度相談にのれる体制になっています。小中学校の学習については、例えば資料館の見学とか、申し込んでいただければ、文化財、歴史については生涯学習課の職員が出向いて授業をする出張トークがあります。昨年は利用が14回ありましたが、三条小、保内小など、歴史を習う学年や総合学習において土器づくりなどがありましたし、須頃小などで、諸橋轍次博士の話聞くなどがありました。出張トークを利用されてはいかがかと。思います。

小野島委員	それは充分承知していますし、利用しています。特定のものについては十分提供していただいている。しかし、三条市にはこういうものがあるという概括的なもので、これはここに行けば調べられるというような、子どもでもわかるガイドブック的なものがほしいということです。
金子生涯学習課長	道案内的なガイダンスのようなものということでは、工夫したいと思います。出来ましたら、校長会等でPRさせていただきたいと思います。
阿部副議長	②です。かつては社会教育の窓口は行政にあり、育成や支援をしていただきました。最近では、独立・自立の方向でやってきているが、逆に、全然構わないような感じが増えてきている。青少年教育、女性教育など、社会教育団体に対して行政が少しは支援していただきたい。また、公共施設の使用で特典を減らされたりすることになった。第二庁舎にある市民活動センターのように、新しいことをする団体は支援され、古い歴史ある団体は衰退の方に向かっていくように思われるので、生涯学習課で温かい支援をお願いできたらと思います。
金子生涯学習課長	具体的な支援についてはどういうものが望ましいのかいろいろあり、団体の要望に応じた支援については相談させていただきたいと思います。
小林議長	「4『その他』」に移ります。
渡辺委員	⑧です。昨年、委員となり、各種研修会に参加し勉強させていただいているが、社会教育委員の活動が市町村によって格差が大きいと感じている。三条市では社会教育委員がどういう位置付けなのか、何をするのかということを考えながらやってきた。今日はいろんな議論ができて、とても内容ある有意義な会議であり、皆様の意見を拝聴しているところです。三条市の社会教育委員の立場として何をするのか、市も含めてしっかりと考えていただき、我々も認識し、その中で活動を進めていけるような委員でありたいし、市でもそのように会議を持ち、進めていただきたい。
五十嵐（公）委員	⑩です。井栗公民館に行っていますが、地域の老人クラブの方が受付とか積極的に活動されているようです。事業に参加してみると楽しいし、勉強になります。生涯学習は老人クラブに加入していないと活動できないのでしょうか。
藤崎井栗公民館長	それは高齢者事業のことだと思いますが、会場設営や後片付けは、老人クラブさんからお手伝いの申し出があっただけでお願いしています。参加者の取りまとめも老人クラブが協力してくださっています。決して老人クラブに入っていない方は対象外というわけではなく、PRについて公民館だよりを見ていただければご理解いただけるとと思います。

小林議長	<p>社会教育委員・公民館運営審議会委員として、五十嵐さんから地区の方に発信していただきたいと思います。</p> <p>今日のこの議題に関して、皆さんから意見・提案を書きいただき、その中からまたここで、いろんな意見をいただいたわけです。次年度、生涯学習の視点から十分に活かしていただけるようなものも多々ありました。それを取り入れていただくことも含め、よろしくご検討のほどお願いいたします。</p> <p>次に進ませていただきます。「議題（１）平成２４年度 生涯学習・社会教育事業の中間報告について」事務局より説明をお願いいたします。</p>
金子生涯学習課長	<p>資料No.1「平成２４年度生涯学習課実施状況について」により、実施状況の中間報告について説明いたします。</p> <p>—— 芸術文化事業、主に次の事業について説明 —— （文化芸術振興に関する懇談会、第８回三条市美術展、第８回三条市音楽祭、わくわく文化未来塾、越後警女歌頭彰事業）</p> <p>—— 文化財事業、主に次の事業について説明 —— （文化財講演会、文化財総合調査、遺跡講演会）</p>
小林議長	<p>只今の説明について、意見、質問があったらお受けいたします。</p>
阿部副議長	<p>P1の文化芸術振興に関する懇談会の中で挙げられた文化振興基金の有効な活用方策について、文化振興基金募集のチラシができたということですが、配られたり配られなかったり、どこにあるのか分からなかったりで、適切なPR等をしないとお金は集まりません。また、文化財総合調査報告書の発行部数：300部、価格：1,000円とありますが、3月末に発行となるのでしょうか。これも少しは広報していただかないと、販売できないのではないのでしょうか。</p>
金子生涯学習課長	<p>文化振興基金については、市展、音楽祭、芸術鑑賞ツアーなど主催事業の中で参加者にお配りしています。PRについてはもう少し意を用いていきたい。浄水場の調査報告書については10月に発刊し、広報さんじょうにも掲載しましたが、PRの方法ももう少し検討させていただきます。</p>
小林議長	<p>他に無いようですので、「公民館事業実施状況」について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
長橋課長補佐	<p>資料No.2「平成２４年度公民館事業実施状況等について」を報告させていただきます。11月4日現在で作成しておりますが、時間の都合上、各公民館、1つ位ずつ概要を説明させていただきます。</p> <p>—— 中央公民館、主に次の事業について説明 —— （待ったなし！現代講座～市民学習会「放射能と私たちの暮らし」）</p> <p>—— 嵐南公民館、主に次の事業について説明 ——</p>

	<p>(ふるさと講座)</p> <p>—— 三条東公民館、主に次の事業について説明 —— (市民総合大学「料理をしない料理教室」)</p> <p>—— 井栗公民館、主に次の事業について説明 —— (旭分館－旭地区体育祭)</p> <p>—— 本成寺公民館、主に次の事業について説明 —— (宿泊体験交流会)</p> <p>—— 大崎公民館、主に次の事業について説明 —— (おおさき倶楽部)</p> <p>—— 大島公民館、主に次の事業について説明 —— (大島地区スポーツカーニバル)</p> <p>—— 栄公民館、主に次の事業について説明 —— (おとなの学び家)</p> <p>—— 下田公民館、主に次の事業について説明 —— (通学合宿)</p>
小林議長	<p>只今の公民館事業の説明について、質問があったらお受けいたします。 無いようでしたら、私の方で1点お聞きしたいと思います。本成寺公民館の ピノキオクラブ「ドッジビー大会」で、定員先着順20人、最低開講人数5人 とありますが、5人でドッジビーの試合形式はできません。現在の申込者数は わかりますか。</p>
鈴木本成寺公民館 長	<p>現在の申込者数は17人です。</p>
小林議長	<p>このような募集内容はおかしいということを申し上げたので、開催要項を 作成される時によく検討された方がよいと思います。</p>
田中委員	<p>大島公民館「大島地区スポーツカーニバル」のウォーキングで、13人しか 参加しなかったと説明がありましたが、スポーツカーニバル全体では、大変多 くの保護者の方の参加があり、最後は200人～300人の方で、豚汁が間に 合わないほどに盛況でした。</p>
小林議長	<p>わかりました。それでは、この実施状況は中間的なものでございますので、 終了した時点でまた皆様からご意見、ご質問があろうかと思っておりますのでよろ しく願いいたします。それでは次に、「図書館・歴史民俗産業資料館・諸橋轍 次記念館」の実施状況についてお願いいたします。</p>
太向図書館長兼歴 史民俗産業資料館	<p>資料No.3「図書館・歴史民俗産業資料館・諸橋轍次記念館実施状況等につい て」を説明させていただきます。</p>

長	<p>—— 図書館事業、主に次の事業について説明 —— (新聞紙でエコバック作り、エンディングノート、三条市立図書館調べる学習コンクールサポート教室)</p> <p>—— 歴史民俗産業資料館事業、主に次の事業について説明 —— (高橋敬・中澤茂ふるさと作品展、瞽女さんを偲ぶー小林ハルと越後瞽女ー、第2回「関所抜け 女たちの冒険」)</p>
羽賀諸橋轍次記念館長	<p>—— 諸橋轍次記念館事業、主に次の事業について説明 —— (リニューアル記念特別展、ほかに日中国交正常化40周年記念事業で生涯学習課と協力)</p>
小林議長	<p>ご質問等がありましたら伺います。</p>
阿部副議長	<p>諸橋轍次先生は大変幸せでいらっしゃると思います。他の名誉市民の方は記念館もできない。歴史民俗産業資料館が古いということを行うわけではありませんが、もう少し何とかならないのでしょうか。また、素敵にリニューアルされた諸橋轍次記念館では毎月のようにいろんな事業があり、下田地区の文化ゾーンになるようですが、交通の便が少し悪いので、マイクロバスがあればありがたいと思います。</p>
宗村市民部長	<p>歴史民俗産業資料館につきましては、昨年、国の登録有形文化財に指定され、内容の充実については取り組んでいるところでございます。マイクロバスは、機会がありましたら理事者へ話をさせていただきたいと思います。また、名誉市民は他にもおられますが、諸橋轍次先生の漢学の里は、旧下田村でふるさと体験事業とかの繋がりの中で建物があったわけでございます。旧三条市はそのようなベースがなかったもので、現実の話では財政的に厳しい状態もご存じかと思いますが、ハードの面では難しいことは率直に申し上げます。これからいろんな方面の中で、ソフト的な事業について名誉市民に対する取組をさせていただきたいと思いますので、ご理解をお願いいたします。</p>
米山委員	<p>図書館事業の「図書館調べる学習コンクールサポート教室」で、4年生の作品を見せていただきましたが、大変良くできていて頑張りがよくわかりました。図書館と学校は大変だったと思いますが、また機会があったら是非やっていただきたいと思います。</p>
小林議長	<p>他にございますか。無いようですので、次に進みます。 「4その他(1)施設使用料に係る減免基準の見直しについて」事務局の説明をお願いいたします。</p>
金子生涯学習課長	<p>資料No.5「施設使用料に係る減免基準の見直しについて」に追加し、本日「広報さんじょう12月1日号の写し(資料No.5-1)」をお手元に配付させてい</p>

	<p>ただきました。</p> <p>—— 資料No.5 - 1に基づき内容を説明 ——</p>
小林議長	<p>このことについて質問ございますか。無いようですので次に進みます。</p> <p>指定管理における「公民館分館の管理方法について地元との検討協議について」を、資料No.6により説明をお願いいたします。</p>
金子生涯学習課長	<p>本日配付しました資料No.6で、表面は井栗公民館、裏面は図書館の関係について説明させていただきます。</p> <p>—— 資料No.6に基づき内容を説明 ——</p>
小林議長	<p>質問はございますか。</p>
渡辺委員	<p>いぐりわかふじコミュニティに委託をした場合、指定管理料はどの位交付されるのですか。</p>
金子生涯学習課長	<p>指定管理料としては、現在直営でやっている金額相当で850万円を予定しています。</p>
小林議長	<p>平成23年度決算状況の収入で、会費と大半は総合型地域コミュニティがもらっている補助金ですか。</p>
金子生涯学習課長	<p>補助金は120万円です。</p>
藤崎井栗公民館長	<p>それ以外の約80万円は、各自治会や井栗地区の諸団体がやっている事業をコミュニティの事業として取り込んで計上している金額であり、同額をまた支出によりお返ししています。</p>
小林議長	<p>12月議会の提案でしょうか。</p>
金子生涯学習課長	<p>12月議会です。</p>
小林議長	<p>他に事務局から何かありますか。</p>
金子生涯学習課長	<p>用意した議題は以上でございます。</p>
小林議長	<p>本日は、長時間に渡り大変熱心な議論をしていただきましてありがとうございます。ひとつだけお伝えしておこうと思います。先月26日、山梨の大会に行っておりました。その時に、ダーウィンの言葉だと思いますが、「強いものが生き残れるわけではない。変わるものが生き残れるのだ。」という言葉</p>

阿部副議長	<p>が頭に残っております。今日、そういう意味では変わるものが生き残れるという意味での提案が出ました。社会教育の部分でも、私達と事務局とで一体となって取り組んでいくことで、変わるものは残れると確信しております。皆様から率直にいろんな意見をいただきましたことに感謝申し上げます。</p> <p>最後に、阿部副議長からご挨拶をお願いいたします。</p> <p>本日は長時間に渡りありがとうございました。</p> <p>ぜひ、今年度中に教育長、教育委員さんと私どもでお話しを持ちたいと希望しております。それに向かって私達も勉強していきたいと思ひますし、社会教育委員と公民館運営審議会委員が一緒になり、その結びつきについて、会議内容も充実の方向へ検討していきたいと思っております。</p> <p>本日は本当にお疲れ様でした。</p>
-------	--